

溶接時の低温割れに関する調査報告書

1 9 7 3

社団法人 日本溶接協会
鉄鋼部会 U S W 委員会

序

当CSW委員会(Classification of Structural Steels for Weldability)は溶接性より鋼を分類する目的で1972年に日本溶接協会鉄鋼部会に設立され、溶接部の冷間割れ、ハク離、脆性破壊等について調査検討を行なってきた。

本報告はその一担として、冷間割れ評価に関する国内研究の現状を国内諸文献について調査し日本の冷間割れ研究の最近の動向を調査すると共に、IIWを中心とする海外の研究との対応性を検討したものである。

本報告書はCSW委員会のつぎに示す委員により起草されている。

主 査	稲 垣 道 夫
副 主 査	田 村 博
幹 事	中 島 明
”	伊 藤 慶 典
原 案 起 草 者	藤 城 能 教
”	中 西 稔 夫

溶接時の低温割れに関する調査報告

内 容

1. 緒 言
2. 溶接割れ防止のための鋼種分類について
 - 2.1 高張力鋼の溶接性評価
 - 2.2 溶接割れ感受性組成 (P_{CM}) 採用の経緯
 - 2.3 溶接割れ感受性組成 (P_{CM}) 規定値の決め方
3. 溶接構造物の溶接施工条件の推定について
4. γ 開先拘束割れ試験と TRC, RRC ならびに Implant 試験の相関性について
5. まとめおよび日本の動向と I I W の考え方

参 考 文 献

C S W 委員会委員名簿